

《編集の趣旨》

本書は「集中2週間完成」シリーズの1冊として、高校上級生を主な対象に、短期間で英作文の要点を確認しながら、受験に即応した実戦力を養うことを目指して編集した問題集です。

《本書の構成》

1. 最近の大学入試の中から実力養成に相応しい問題を精選して収録しました。
2. 文法項目を柱にして14回(日)分に編集しました。
3. 初めの「要点」欄では、文法の骨子を簡条書きで示しました。
4. Exercisesには、1回につき、[A] 整序問題を8題、[B] 空所補充問題を4題、[C] 和文英訳問題を5題の、計17題を収録しました。
5. 巻末に総合練習用の「実戦力養成演習」を2回設けました。これらを加えると、収録問題数は**全体で270題**になります。
6. 同じく巻末に「トピック別 暗唱用例文50選」を掲載しました。
7. 別冊解答書では、[A] 整序問題と[B] 空所補充問題の解答についても、解答部分の前後を補い、完成した文の形で理解できるようにしました。
8. 別冊解答書には、[C] 和文英訳問題の解答として、編者が作成した訳例(A)と(B)のほかに、native speakerである早稲田大学講師 Jayna Tanaka 先生に作成を依頼した「米人訳」(C)を加えて、万全を期しました。〈「米人訳」(C)と編者の訳例(A)または(B)に違いがない場合も、標準的な英文の見本としてそのまま掲載しました。〉また訳例(A)と(B)についても、念のため同先生の check を受けてあります。

《本書の活用法》

1. Exercisesの解答は、整序問題も含めて**必ずペンを持って自分の文字で書く**ように習慣づけましょう。
2. 即座に答えが出せない場合にも、先ず辞書や参考書などの助けを借りながら必ず自分の力で解答を導き出し、その後で別冊解答書と照らし合わせて自己添削をするように心掛けて下さい。解答書には、正解の決め手となる文法事項・構文から表現上のヒント・注意点まで、きめ細かく解説を加えてありますから、大いに活用して下さい。
3. 「トピック別 暗唱用例文」が自然に口を突いて出るようになるまで、何回も声に出して読んでみて下さい。大きな力を発揮する機会がきっと来るでしょう。

編 者

第1日	基本時制	4
第2日	完了形	6
第3日	助動詞	8
第4日	受動態	10
第5日	不定詞	12
第6日	分詞	14
第7日	動名詞	16
第8日	前置詞	18
第9日	関係詞	20
第10日	比較	22
第11日	否定	24
第12日	仮定法	26
第13日	名詞節	28
第14日	副詞節	30
付録1	実戦力養成演習(1)	32
付録2	実戦力養成演習(2)	34
付録3	トピック別 暗唱用例文50選	36

◆ 要 点 ◆

- ◇ 英語における基本時制は現在時制・過去時制・未来時制である。
- ◇ 文法上の時制は実際の時と一致しないことがあり、副詞節の中で未来を表すのに現在時制を用いるのはその1例である。

EXERCISES

A 日本文とほぼ同じ意味になるように、[] 内の語句を正しく並べ換えよ。

- (1) 彼はいつも仕事に遅れます。
[1. always 2. for 3. he 4. is 5. late 6. work]. (崇城大)
- (2) ポケットに何が入っていると思う？
What [1. do 2. have 3. I 4. in 5. think 6. you] my pocket? (高岡法科大)
- (3) その飛行機にはかなりたくさんの乗客が乗っていた。
[1. quite 2. few 3. a 4. were 5. there 6. passengers] in the plane.
(愛知工業大)
- (4) 佐々木さんは来週リサイタルをおこないます。
Mrs. Sasaki [1. next week 2. give 3. to 4. a recital 5. is going]. (浜松大)
- (5) 明日の午後、私はテレビを見るかサッカーをするだろう。
Tomorrow afternoon I [1. watch TV 2. either 3. will 4. or 5. play] soccer.
(九州国際大)
- (6) 霧があまりにも濃かったので、その橋はほとんど見えなかった。
The fog [1. could 2. the 3. hardly 4. so 5. that 6. bridge 7. thick 8. was] be seen.
(独協大)
- (7) そんなことを続けていたら、許可証を取り上げられるだろう。
If you [1. you 2. that 3. get 4. keep 5. will 6. up 7. your license] taken away.
(桃山学院大)
- (8) どのくらいすれば、誰でもスペースシャトルに乗って地球のまわりを飛べるようになるのだろうか。
I [1. be 2. before 3. how 4. it 5. much 6. soon 7. will 8. wonder] anyone can fly around the Earth in a space shuttle. <1 語不要> (成蹊大)

B 日本文とほぼ同じ意味になるように、空所に適語を入れよ。

- (1) スージーは母親に似ている。
Susie [] after her mother. (鹿児島大)
- (2) その交通事故はハイウェイで起こった。
The traffic accident [] place on the highway. (明治大)
- (3) 昨日、その農夫はミルクをビンに入れて私の家まで持ってきてくれた。
Yesterday, the farmer [1] some milk in a [2]. (東京経済大)
- (4) 手術の技術が進歩したおかげで、彼の回復は早かった。
Advances in operation technology [1] about his speedy [2].
(芝浦工業大)

C 次の日本文を英訳せよ。

- (1) 彼は週一回医者へ通っています。 (愛知工業大)
-
- (2) この手紙がロンドンに着くまでに、どのくらい時間がかかりますか。 (学習院大)
-
- (3) ロンドンにお着きになりしだい、Eメールを送ってください。 (工学院大)
-
- (4) インターネットは私たちの社会に大きな影響をあたえます。 (鹿児島国際大)
-
- (5) 彼は自分の子供たちに他国の文化を尊重するように教えた。 (学習院大)
-